

店内の家具や食器などを引き立てるため、白とこげ茶を基とした店内。通りく人の目を引く目的から、壁にアクリル製の波板をたわませて張り、曲線を強調。優しい質感に仕上げた。



素材と色使いで洗練された雰囲気 工夫と変化楽しむ空間

おみせの Interior ④

Simple (沖縄市)

「設計事務所に気軽に来てほしい」との思いから、カフェと設計事務所を併設した「Simple」。材料を使い工夫しながら、常に変化を楽しんでいる同店のインテリアをのぞいた。

こげ茶の床や飾り棚、白い波板の壁に、えんじや紺のイスが映え、洗練された雰囲気を出している。カフエ+1級建築士事務所「Simple」。オーナーの赤嶺繁隆さんは「設計事務所がカフェみたいだったら、もっと気軽に入ってもらえると、以前から思っています」。店内も、ニューヨークにあるカフェのような洗練された遊び心のあるインテリアで、くつろげる雰囲気にしたかったんです」と話す。

白い波板は、間接照明の温かい光と相まって優しい印象を与える。「道行く人にも店内に目を向けさせる狙いから、波板を大きく使い、あえてたわませて曲線を強調することで、優しい質感を演出しました。席ごとにグリーンや照明を変えることで、異なる空間を楽しんでもらう工夫もしています。また、コストを抑えて品良く仕上げたいための素材使いも見どころ。床や飾り棚には、安い木造住宅用の合板をオイルステンで塗装し使っている。カフェと事務所は、一体感を持たせるため、透明な板で仕切り、内部が見える造りとした。大事な商談のときは、ブラインドで目隠し。アメリカ映画に出てくるガラス張りのオフィスのイメージですね」と、にっこり。

昼と夜では照明を変えて、異なる雰囲気演出しているほか、2週間に1回程度、こまめに模様替えし、店内の新鮮さを保っている。「いつも、スタッフと店内をどうしようか考えていますね。これからは、県内アーティストの作品も展示して、アートと気軽に触れ合える場にしたい」と、胸を膨らませる赤嶺さん。創意工夫でインテリアが変わる面白さが味わえる空間になっている。

(毎月第4金曜日に掲載)



グリーンや照明をテーブルごとに変えることで、異なる空間が楽しめるよう工夫



木造住宅の構造用合板を使い造った飾り棚とカウンター。小物はスタッフがディスプレイしている



事務所は、テーブル・イスもすべて白に統一。適度な緊張感が生まれ、カフェとの雰囲気の違いがつけられるそう

Simple ☎ 098(939)2901

